



平成 30 年度 向山小学校区 第 2 回地域コミュニティ連絡会のまとめ



作成：三島市役所 地域協働・安全課 きずなづくり推進室（TEL：055-983-2708）

10月24日（水）に開催された「平成30年度向山小学校区第2回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。当日の発言や意見をまとめた資料ができましたので、送付いたします。（三島市のホームページにも掲載しています）

■開催概要■

日 時	平成 30 年 10 月 24 日（水）19:00～20:35		
会 場	錦田公民館		
参加団体 (25名)	夏梅木町内会 錦が丘自治会 大場町内会 多呂自治会 北沢町内会 交通安全母の会 組合立若葉保育園	大場幼稚園 向山小学校 向山小学校 PTA 中郷中学校 中郷中学校 PTA 錦田中学校 子ども会連合会	体育振興会 消防団 地域安全推進員 民生委員・児童委員 中郷地区地域包括支援センター 三島市社会福祉協議会

■次第■

開会・市長あいさつ

- 1 「コミュニティ連絡会について」
- 2 「地域の情報を共有しよう」
- 3 「現在の状況を確認しよう」
- 4 「地域でできることを考えよう」
- 5 「話し合いの内容発表」
- 6 「アンケート記入」



「地域の情報を共有しよう」のまとめ

各団体間の情報やお願いしたいことなどを共有しました。

■主な情報交換の内容

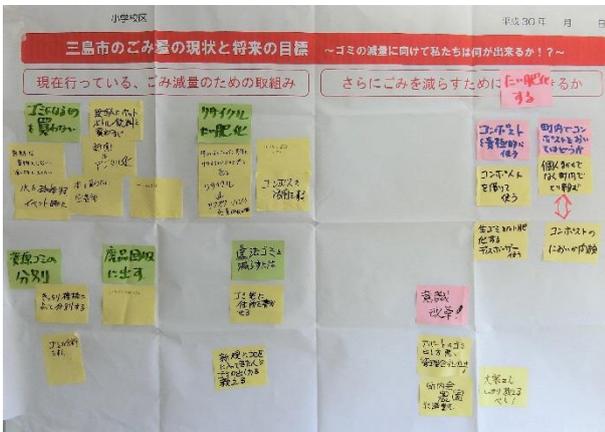
中郷中学校PTA	11月21日にオリンピック・パラリンピック講演会を実施します。中郷中学校体育館で行います。来てください。
社会福祉協議会	誰もが住みやすいまちづくりを目指して、高齢者の居場所づくりを行っています。
向山小学校PTA	10月27日にPTAバザー、11月4日に廃品回収を実施します。ご協力をお願いします。
体育振興会	10月14日市民運動会の運動会は3年連続で延期になったので、日程の変更を考えています。また、11月18日にウォーキングを予定しているので、ぜひ参加してください。
錦田小学校	子ども達への声かけをしていただき、ありがたいと思っています。11月3日にPTAバザーを開催します。ご協力をお願いします。
中郷中学校	廃品回収を予定しているのでご協力ください。11月21日のオリパラ講演会にご出席ください。
向山小学校	12月1日向山祭りがあります。ぜひお越しください。
中郷地区地域包括支援センター	高齢者の相談に乗っています。知ってほしいことは、地域包括支援センターが何をしているかということです。
多呂自治会	他地区（函南町など）から持ち込まれる違反ゴミに困っています。通学路に危険なブロック塀がありますが、伝え方に十分に配慮しながら所有者へ対策を依頼しています。
若葉保育園	大場の商店街のお店に行って、交流させていただいています。大場で畑を借りてさつまいもを栽培し、収穫しています。大場幼稚園との交流もしています。12月のミニミニ発表会には老人会の方に来ていただきたいと考えています。
大場幼稚園	11月9日にリサイクルフェア（バザー）を開催します。みなさんお越しください。来年の3歳児教室に19人の応募があり、クラスを設けることができました。来年は50周年で、皆さんにお声かけしたいと考えています。
地域安全推進員	第一回会議の“子どもを地域で育てる”のテーマで、もう少し議論をしたいとの声があり、7月末に少人数でしたが、集まれる方で集まりました。

「地域でできることを考えよう」のまとめ

今回の連絡会のテーマである「三島市のごみ量の現状と将来の目標」と「多くの住民・団体が関わる自主防災活動について」のうち、各参加者が希望するテーマを1つ選択し、各テーマに分かれて意見交換しました。

	ごみ量の現状と将来の目標
	自主防災活動

意見交換の結果の概要は次ページ以降に掲載しています。



■グループ別意見交換のまとめ

グループA

ごみ量の現状と将来の目標

現在行っている、ごみ減量のための取組

さらにごみを減らすために何ができるか

現在の取組み

■ゴミの分別をしている

- ・資源ゴミの分別をしている

■リサイクルに出している

- ・リサイクル・リユースしている

■ゴミの教育をしている

- ・子どもの頃からゴミ教育をしている



何ができるか

●食品のムダをなくす

- ・食料の包装類の分別
- ・食品の買い過ぎ
- ・野菜皮ごと利用
- ・残菜を減らす
- ・各家庭で生ゴミのリサイクルをする

●古紙の再利用をする

- ・ミックス古紙の分別をする
- ・古紙の再利用をする
- ・どんな小さなものも紙の分別をする
- ・紙の使い方を工夫する

●生ゴミの水分を減らす

- ・生ゴミの水分を無くす
- ・生ゴミの水分を切る

●宴会の時に食事時間を先に取る

●分別する

- ・リサイクルの幅広い活用
- ・分別を主体に少量化する
- ・紙パックや紙類を資源回収業者に届けたり、スーパーのリサイクル BOX に投入する

●買い物の工夫

- ・食品量り売りの復活を促す
- ・使い捨てになりやすい物を代替する
- ・ストローを利用しない
- ・余分な物を買わない

●エコバックの利用

- ・持参の買い物袋を利用する
- ・ビニール袋を使用しない

●ゴミの区分を大きな紙に記入したものを作成する（市へ依頼）

現在の防災訓練の参加状況

現在の取組み

■防災訓練を頑張っている

- ・自宅での避難の仕方を訓練している
- ・自治会災害対策本部設立の仕方を訓練している
- ・町内で消火隊を作り月1回の訓練を行っている（若い人が入らず60歳以上の人で…）
- ・住民の関心が高く、多い時には800人位の参加あり

■子どもや若い人の参加が大切

- ・若い人に入ってもらいたいが、入る人がいない
- ・起震車が確保できなかったため、確保できるといい
- ・小学生の参加も増えた

■お祭りに防災を入れる

- ・お祭りの中に防災を持ち込む

■中学生に役割をふる

- ・中学生、高校生に役割をお願いする
- ・地域の防災訓練で具体的な中学生の役割を考えたい
- ・今年の災害が実際の訓練になった

《気を付けること》

=DIGHUG 訓練を試してみる

=各機関の連携を強化する

- ・南海トラフ地震に備えて 国→県→市→学校対策を強化する

=運動会で防災種目にできないか

- ・運動会の種目を防災に意識した内容に

=要支援者の名簿づくり

- ・支援が必要な方・家庭の名簿づくり

=民生委員の持つ名簿を使う

- ・避難行動支援者調査を民生委員が実施しているので、個別対応は相談されたい
- ・災害時避難行動支援者名簿のうち公表しないものも民生委員が持っているので活用されたい（自治会、町内会で持たなくなった）

多くの住民・団体が関わるには？

関わっていくためには

●お互いの訓練を見に行く

- ・各町内会の防災訓練の日程を情報共有してはどうか
- ・各町内会の防災訓練をお互いに見学してはどうか

●要支援者への対応すすめる

- ・要支援者マップを作って訓練する予定
- ・要支援者の把握方法を研究している

●避難所運営会議に保育園も参加

- ・保育園でできることを地域で考えたい

●身障者などの対応

- ・身障者や高齢者の災害後のケア（物資の供給）が必要で災害時は召復者の救護が重要

●平日昼間に起震車を予約して乗る

- ・200人の子どもが起震車に乗れた（向山小1・3年生）
- ・平日の昼間なら予約できる

●合同訓練をしてはどうか

- ・向山小学区内の3ヶ所の避難所で（向山小、中郷中、南校）同時に宿泊訓練をしてはどうか

●アパート住民の訓練参加

- ・アパート等の住民参加の促進や防災組織体制の見直し
- ・訓練の案内が来ない
- ・自治会に入っていないので連絡がない

●訓練準備から中学参加

- ・防災訓練の準備の段階から中学生を参加させる